



第26回上田八木・金融政策サーベイ(2019年3月)の結果について

～今回のMPMでは政策変更なしの見方(99%)。3か月先の金利予想は、いずれも**大幅に低下**(ON金利は16年9月以来)。出口開始時期については、**3年以上先との見方が過去最大(48%)**。

2019年3月13日(水)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(173先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。前回と同じ結果。
- 「無担保コールON」金利予想では、「低下」と予想する先が約2年ぶりの水準(30%、2016年9月以来)。
- 「2年利付国債金利」「10年利付国債金利」についても、「上昇」とみる先が減少し、「低下」が増加。
- 出口開始時期に関する質問では、「3年以上」と回答する先が大幅に増加(48%、調査開始以来最大)。

【調査の概要】

調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(192先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2019年3月8日～12日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	90.1% (回答者数173先<Q1における回答者数>)

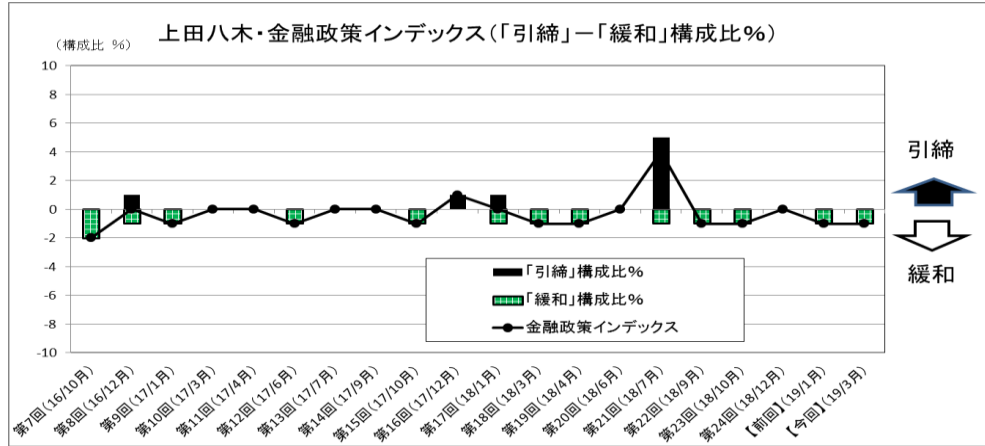
【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(3月14日～3月15日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲1」(前回は▲1)であった。

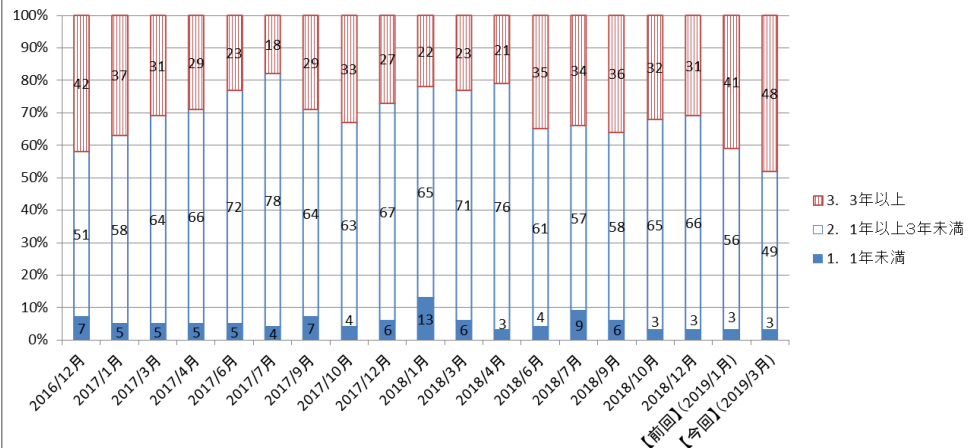
(ご参考)



【追加質問:Q5】

現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は？

1年以上3年未満と回答する先は49%に減少(前回56%)、3年以上と回答する先が48%に増加(前回41%、調査開始以来最も高い結果)

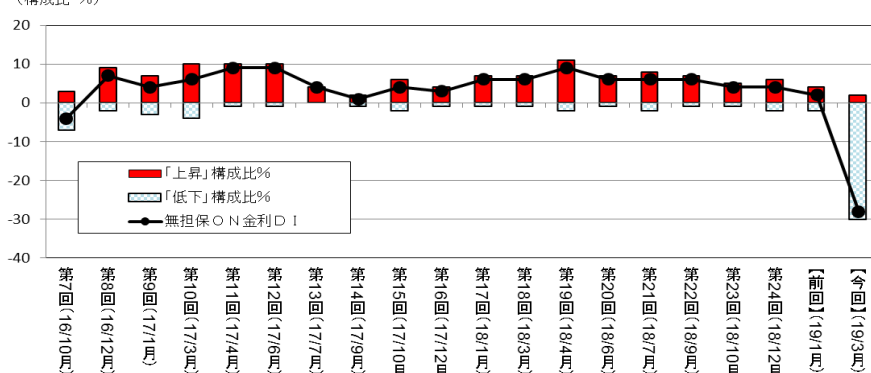


(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の68%が「不変」と予想。30%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は2%であった。

「上昇」とみる先は前回から2%ポイント減少の+2%（前回4%→今回2%）。
 「低下」とみる先は前回から28%ポイント増加の+30%（前回2%→今回30%）。
2016年9月（63%）以来の水準。
 「不変」とみる先は▲26%ポイント（前回94%→今回8%）。

(構成比%) 3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

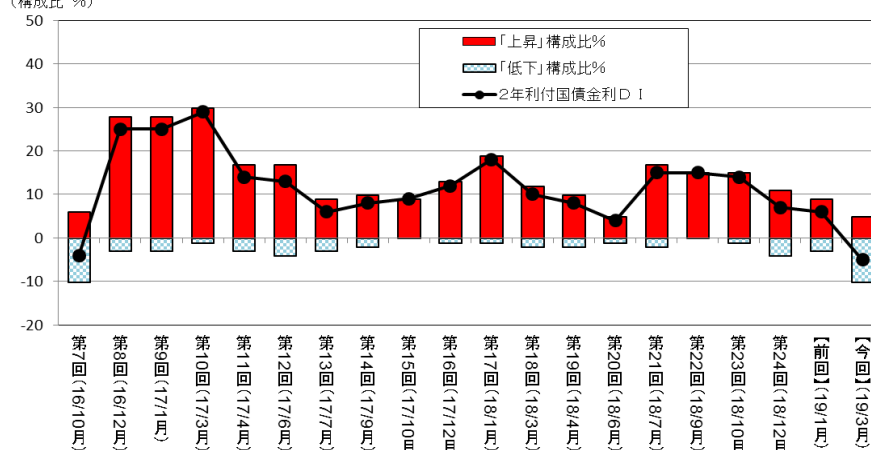
回答者全体の85%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者10%。「上昇」を予想した先は5%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲4%ポイント（前回9%→今回5%）

「低下」とみる先は+7%ポイント（前回3%→今回10%、**2016年10月（10%）以来の水準。**）

「不変」とみる先は▲3%ポイント（前回88%→今回85%）。

(構成比%) 3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



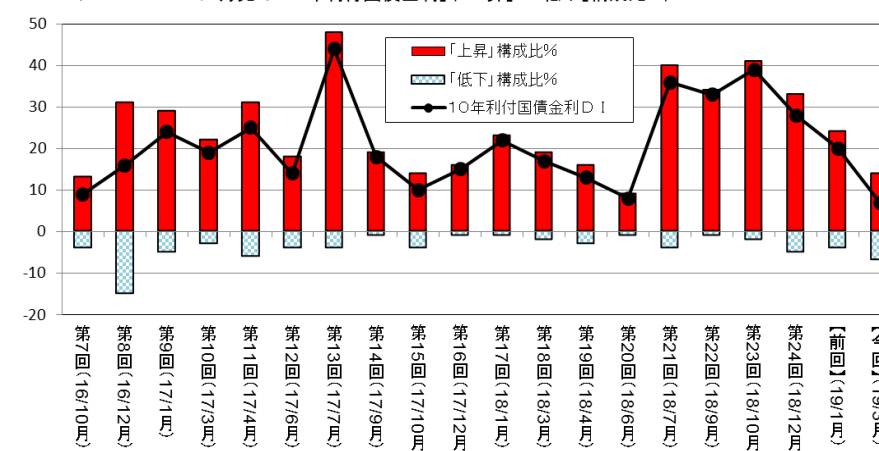
(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の79%が「不変」を予想。7%が「低下」、14%が「上昇」を予想した先は14%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲10%ポイント（前回24%→今回14%）。
 「低下」とみる先は+3%ポイント（前回4%→今回7%）。

「不変」とみる先は+7%ポイント（前回72%→今回79%）。

(構成比%) 3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



【本調査に関する照会先】
 企画部 島本、保元（電話 03-3272-0293）